

日本原電前抗議行動プログラム

～絶対に老朽原発を再稼働させてはいけない～

- 17:00 開会のあいさつ：志田文広(司会、首都圏連絡会)
- 17:02 主催者スピーチ：柳田真(首都圏連絡会)
- 17:07 脱原発スピーチ：増田薫さん(松戸市議会・議員)
- 17:17 参加者スピーチ：鴨下美和さん(福島原発被害東京訴訟団)
- 17:22 申入書受け渡し：久保清隆(首都圏連絡会)
- 17:27 要請書受け渡し：けしば誠一さん(反原発自治体議員・市民連盟)
～¥100カンパコール～
- 17:33 日本原電前アクション音楽開始
～日本原電6人衆による♪日本原電前アクション音楽2024.5.8～
(今回はジョニーH、生田まんじ、右田春夫、坂本達雄の4人)
- 17:43 行動提起：久保清隆(首都圏連絡会)
- 17:46 シュプレヒ・コール：中村泰子(首都圏連絡会)
- 17:48 閉会のことば：志田文広(司会、首都圏連絡会)
- 17:50 終了(予定)

欠陥工事発覚、東海第二原発が危ない！

このあと18:45からは東京電力本店前にて抗議行動です！

首都圏連絡会の今後の行動予定

- | | |
|---------------|---------------------------------------|
| 6月5日(水)17:00～ | 第71回日本原電本店前抗議行動 |
| 6月7日(金)～9日(日) | 一斉行動・第12波 |
| 日時未定 | 東海第二原発の欠陥工事についての学習会Part2(仮称) |
| 7月3日(水)17:00～ | 第72回日本原電本店前抗議行動 |
| 8月24日(土)午前 | 東海村核関連施設バスツアー |
| 〃 午後 | STOP!!東海第二原発の再稼働 いばらき大集会&デモ行進に参加 etc. |

新・署名活動(第4弾)で日本原電を追いつめよう！

‘とめよう！東海第二原発首都圏連絡会’では、昨年10月に明るみにでた東海第二原発の再稼働工事における欠陥工事と今年元旦に発生した能登半島地震による志賀原発などの被災、そしてそれらをもっても日本原電は9月の再稼働を撤回しない、という危機的状況を踏まえその再稼働を阻止べく今までの署名用紙を一新して新たに署名活動をスタートしました。

署名用紙の本文においてこの危機的状況について記し、今までの署名活動よりパワーアップして日本原電を追いつめ、という署名活動です。そして先日3日に有明で行われた憲法集会で首都圏連絡会・世話人による署名活動を行い321名の署名を集めました！ここ1年くらいの世話人による集会の署名集めとしては多い署名数を獲得できましたが、この危機的状況がそれを可能にし、世論が変わってきているようです。この署名活動で一氣に原電を追いつめましょう！

～日本原電前音楽アクション2024.5.8歌詞～



♪聞け原発の経営者 (メーデー歌・アムール河の流域) byジョニーH

聞け原発の経営者 原発利権にしがみつ き 核発電の悪だくみ 愚行を直ちに中止せよ
ひとたび事故が起こりなば放射能まみれの山や川 廃炉作業もままならず 大迷惑の繰り返し
広告会社でそのかし 安全神話をでっち上げ 札束で横っ面引っ叩く 愚民政策許せない
解決してない黒歴史 311事件・東電の 天下り会社原電は 福一事故の隠れ蓑
ここに集いし民衆は 知恵と勇気を結集し 未来永劫呼びかける 東海第二を廃棄せよ！
東海第二を廃棄せよ！ 東海第二を廃棄せよ！

♪GO GO 投票(海のトリトン) by右田春夫

能登半島地震では ああ原発なくて助かった 原発止めた反対行動 命守り未来救った
水平線に汚染水流し 世界の恨みの矛先が 何も知らない子どもたちを襲う 東電
自民党 知らん顔 GOGO 投票GOGO 投票 原発を止めろ 安倍菅岸田次は誰だ裏金カルト
被災地支援より壊憲だ ああ 庶民を見捨てる壊憲だ 原発並べてミサイル並べて
自衛隊をアメリカに差し出す 公文書改ざん私物化自己保身 誉められる所は何もない
原発並べて未来も捨てて 今だけ金だけ自民党
GOGO投票 GOGO 投票 自民党議員を落とせ
GOGO 投票 GOGO 投票 裏金カルトどもを落とせ 安倍菅岸田
次は誰だ ろくなのいねえぞ！

♪海岸の舟歌 by生田まんじ

生命の元ば踏み付けにして 「豊かな未来」の来るもんや
声ば出されんアンコウ達が どんだけ辛かか 悔しかや
死にゆく海ば目の前にして 恥ずかしゅうなとか？わい達は？
いつでん言うこと聞かち 思うなよ 太っか波の来よとぞ
えんやら えんやら えんやら えんやほい×2
泣き笑いして歌え 泥ん酒ば飲もうで
えんやら えんやら 今夜 東海第二ば 止めに行こう
腹の底まで 我慢ば重ね 海の辛さは飲み込んで
どんだけ待ったや 満月の夜 風の止んだら 「出発ぞ！」
えんやら えんやら えんやら えんやほい×2
泣き笑いして歌え 泥ん酒ば飲もうで
えんやら えんやら 今夜 東海第二ば 止めに行こう

※下線・斜字はみんなで歌いましょう！



『申し入れ書』

日本原子力発電(株) 代表取締役社長 村松 衛 様

貴社は東海第二原発の防潮堤における不良工事を認めています、問題が起きて 1 年近くなろうとしています。その間、調査結果を公表したり原子力規制委員会に報告したりしていますが、何が原因で不良工事が起きたのか、このことについて具体的に公表していません。

そもそも貴社はこの不良工事については工事中のことであり、公表義務はないとしています。私たちの常識的な感覚としては信じられないことです。そのような貴社の認識に対して東海村々民はもとより首都圏の多くの人々が不安を感じかつ貴社の不誠実な対応に怒っております。社会的責任ある企業としては全く無責任であり怒りを禁じ得ません。不良工事の真相究明と事後対策がどのように取られているのか、責任ある説明など真摯な対応を要望します。

私たちは先日、「防潮堤の不良工事を問う」とした徹底した学習会を行いました。そこで徹底的に解明されなければならないとしたのは、巨大柱のコンクリート充填の不十分性、鉄筋の変形、柱が海底の岩盤に十分に打ち込まれていない、などの重大な工事の欠陥についてです。そして東海第二原発は 2011 年の大震災と大津波で被災した原発であるにも関わらずその津波被害を防ぐための防潮堤建造が不良工事だったとは住民を愚弄する許しがたい事態でありまた、再度福島原発事故のような大災害が起こればこのような不良工事では住民の命は守れません。

さらに言えば、この不良工事が工事関係者の内部告発で初めて明るみになったという事実は、企業責任を問われる貴社の体質や組織管理体制の不適切さを表しており、人々の生命の安心安全を第一に心がけなければならない企業としては完全に失格であると言わざるを得ません。

そして今年元旦に発生した能登半島大地震を契機にいま、全国の原発立地で安全基準の見直し、再調査を求める声が大きくなっています。日本地質学会においては、「日本に原発を建てられる地盤などない」という声明までだしていますが、地震が頻発する茨城県・東海村地域においてもここで一度立ち止まり、貴社が東海第二原発の安全な再稼働はなし得ないという厳然たる事実を認め、再稼働を断念することを求めます。

とめよう！東海第二原発首都圏連絡会
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3-1-1
高橋セーフビル 1F たんぽぽ舎気付
Tel : 070-6650-5549
Mail : stoptokai2.shutoken@gmail.com

日本原子力発電株式会社 取締役社長 村松 衛 様

反原発自治体議員・市民連盟

(共同代表) 佐藤英行岩内町議会議員・野口英一郎鹿児島市議会議員
福士敬子元東京都議会議員・武笠紀子元松戸市議会議員

要 請 書

防潮堤の施工不良すら改善できない東海第二原発の再稼働を中止するよう求めます

4 月 24 日、私たちは東海第二原発の防潮堤の施工不良問題の学習会を行い、昨年秋に、工事に当たった作業員の内部告発を受けた江尻加那茨木県議会議員からその内容を詳しくお聞きしました。

施工不良が発覚した東海第二原発取水口部の防潮堤とは、1 辺約 16 m 深さ 50～56 m の巨大な 2 つの四角柱基礎の上に、80 m×6 m の鋼製防護壁を接合させてパリの凱旋門のような防潮堤を構築するとうかがいました。

施工不良の具体的内容は、まずその南基礎のコンクリートが全体に回らず、鉄筋がむき出しとなり基礎としては使えず、鉄筋のピッチが乱れて図面と違った配筋状況になっていたことです。これは安定液の検査結果をごまかした結果、地中壁が崩れコンクリート打設に際して生コンが鉄筋にきちんと充填されていなかったことが原因です。

また、北基礎の鉄筋が、設計値の掘削深度に届いてないことです。鉄筋が変形して引っ掛かり、引き抜くことも出来ない状況を隠して安藤ハザマに報告し、嘘の報告でコンクリート打設まで持ち込んだためです。コンクリートの入っていない基礎は、腐食も早く基礎としての強度も保てません。その様な基礎に、上部の鋼製防護壁を 20 m 以上の高さで組み上げても、早くに陥没したり、津波が来ても防潮堤の役割が果たせるか疑問だと告発されました。さらに現場ではオペレーターや作業員の大半が素人で、人数もそろっていないと伝えられました。

貴社原電は、南基礎の施工不良は認めつつも安全性に問題はないと言い逃れ、基礎が規定の岩盤の深さまで届いていない、より深刻な北基礎については未だに問題を隠し続けています。これが事実ではないというなら、その根拠をご説明ください。施工不良部分を解体して作り直す以外に防潮堤の安全は保障できないはずです。

以上の現状から、貴社原電は、施工不良を認め、工事のやり直しができないのであれば、東海第二原発の再稼働は中止し、廃炉にすることを、あらためて強く求めます。

連絡先：東京都杉並区高井戸東 3-36-14-301 fax03-3317-0356
電話：090-5497-4222 アドレス：seiichi@keshiba-shinjo.net